

2017年度日本フードシステム学会特別研究会開催要領

趣旨

これまで特別研究会は公開で行われていましたが、今年度より会員向けサービスとして、より会員間の情報交換による新しい研究の創出へとつながることを意識したコミュニケーションの場として再構築致しました。

具体的には、毎回特定のテーマを設定し、研究動向と会員による直近の研究の方法に関する報告がなされます。そこで最新の研究情報の共有を図るとともに、特に学生を含むこれからそのテーマに取り組もうと考えている会員や、まだ学会内にネットワークの少ない若手会員が、既に当該テーマに関心をもって研究を進めている会員とコミュニケーションをとることで会員の研究レベル向上に資することを目指します。

第1回は大会でも報告の多い食品消費の統計的研究をテーマといたします。具体的な内容とスケジュール案、参加資格等は下記のとおりですが、会員の皆様からも、これからこの分野の研究をしたいと考えている学生・若手研究者にお声掛けいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

第1回研究会 フードシステム学における応用計量分析の可能性Ⅰ—食品消費—

テーマ：フードシステム研究における食品消費研究の方法

日時：2018年3月10日(土) 13時～17時

会場：東京大学農学部ファカルティハウス 2F 会議室

スケジュール案：

1. レビュー：食品消費関連研究の国際動向と流通・政策評価研究の可能性（仮）
報告者：村上智明（東京大学）・菊島良介（農林水産政策研究所）・伊藤暢宏（東京大学大学院）
13時～13時40分
2. レビュー：食品需要の計量研究における近年の動向と新たな研究の可能性（仮）
報告者：中島亨（三重大学）・佐藤赳（東京大学）・林田光平（東京大学大学院）
13時40分～14時20分
3. 研究内容紹介：階層ベイズモデルを用いた消費者行動分析の可能性
報告者：氏家清和（筑波大学）
14時20分～15時
4. グループディスカッション
15時20分～16時
5. 全体ディスカッション
16時10分～17時

➤ 参加者資格と募集方法

- ✓ 参加者は会員及び会員の推薦する学生及び当該テーマの研究にこれから取り組もうと考えている研究者とする

- ✓ 応募人数 25名
- ✓ 参加者は3月5日(月)までに指名・(非会員の場合は推薦者名)・特別研究会に関連する関心のある研究テーマ・主に使用している統計ソフト(使用したことがあまりない場合はその旨を記入)を記載した申込メールを特別研究会用アドレス(foodsystem.special2017@gmail.com)までお送り下さい。
- ✓ 参加費は無料とします。

問い合わせ先

日本フードシステム学会特別研究会担当 (foodsystem.special2017@gmail.com)